

いの流水俳壇

「当季雑詠」

間 浩太選

宛書きのなき鶯の落し文

植田 紀子

〔評〕 檜・栗の木などの葉を筒状に巻き、それが地面に落ちてくるのを、昔の人は鶯とか、時鳥の落し文と見立てて名付けたものである。

昔の人が筒状に巻かれた木の葉が、山道などに落ちてくるのを見て「落し文」と名前を付けた感性には感心します。

作者が、美しい声で鳴く鶯と落し文を見て、鶯の落し文と詠んだのはさすがだと思えました。落し文を見て、誰も宛名がないと感じますので、宛書きのなきは、少し安易な俳句と思います。

「落し文ゆるく巻きたるものかなし」山口青邨の句。

睡蓮の葉影の揺れて鯉の口

友草 水月

〔評〕 沼や池に生育する熱帯原産の水草で、自生もするが池や水鉢で栽培される。地下茎は水底泥中深く埋まり、多数の葉を水面に浮かべる。また葉は根茎から長い柄を出して、水面に浮かぶ。夏になると、花茎を伸ばし蓮に似た美しい花を開く。花は昼咲きのものと夜咲きのものがある。

葉と花で水面はわずかしは見えないが、作者は、花を見つめていると、思いがけなく大きな鯉の口が現れたので、驚いたときの句と思います。

睡蓮の葉が揺れたのを、葉影の揺れて

と詠んだのが、よいと思えますし、花や葉をよく見つめていたので葉影の揺れたと詠めたものと感じました。

物忘れ気にしなくなる茗荷汁

岡村 嘉夫

〔評〕 茗荷を食べると、物忘れするという俗説があり、昔よりよく聞くが当てにはならない。しかし、作者は、この俗説を踏まえての作句と思います。

作者も私も老齢となり、よく物忘れするようにになりました。私も毎日物忘れしたことが、何回あつたか分からないほどで、もう物忘れをしても、仕方がないわと思うようになりました。作者も物忘れしても、仕方がないと開き直った気持ちだと思います。

茗荷の子を汁に入れたり、刻んで薬味にすると、清々しく暑氣払いになり、好む人も多い。この句に高齢者は共感するのではないのでしょうか。

鶯草の風受けてより飛ぶ構え

津田 久美

〔評〕 六月から七月ごろ茎の上の方に、一から四個くらいの純白の花を開く。花の形は、まさに白鷺が翼を広げて、飛ぶ姿そのままであるところから、この名が付けられたもの。

これほど名前がそのものを表している花も珍しい。

鉢植えなどにして観賞用として、その可憐さを愛でられている。鶯草は咲いた状態でも、鶯が飛んでいるように見えるが、この句のように、風を受ければ翼をふるわせて、体も少し動き本当に飛び出そうとしているか、飛んでいるように見える。作者は、鶯草を大切に世話をしていることが感じられます。それゆえに、この句ができたものと思います。

子の絵筆ぐいぐい夏の色となる 岡本とも子

夏蝶の猛々しきにある孤独 田村 千草

抱かれて睡り易さよ合歡の花 片岡 包女

水音に微かな愁い合歡の花 川村 博子

峽青田小田より廢りゆきしかな竹崎 光子

ずつとずつと続いていたい星祭り竹崎たかひろ

噴水の向こうに人は明日を見る 大川 節弥

梅雨明けで明るさ戻る山河かな 刈谷 志津

青田風棚田の上下走りけり 森岡 照月

子等癡ちて連休疲れ更衣 松尾満津於

父の日や酒のラベルに父の名を 井上 郁子

薰風や宇宙交信地球の子 弘瀬うき子

長梅雨をひっくり返すフライパン 伊藤 萩甫

不揃いの箸増えてゆく夏休み 間 浩太

毎月第二土曜日の13時から16時ごろまで、伊野公民館で俳句会を楽しくしています。

俳句に興味のある方、初めてのの方は参加しませんか。詳細は俳句会代表までお問い合わせください。

次 題 「当季雑詠」五句

締め切り 毎月五日

投句先

社会教育課

いの町3597

問い合わせ

俳句会

☎ 090-3788-4578

今月のことも川柳

プール後 みんなくちびる まっさおだ

川内小5年 野口 朱莉

〔評〕 喜々とした子どもたち、プールをあがったきみもぼくも、わたしもくちびるまっさお、楽しさいっぱい、元氣いっぱいうれしい川柳。

雨の音 ビトビトピン ランランラン

川内小2年 筒井 咲希

〔評〕 純粋な子どもの感性が心地よくつたわる素直さがすてきです。

合宿で 手話を覚える 楽しいな

川内小5年 金子明香里

カレンダー めくるとなぜかいきもち

川内小4年 手塚 涼太

ひまわりは ゆらゆらゆれて おどてる

川内小3年 西村ひまり

さかなつり おおもつれた しやしんとる

川内小3年 市川こうき

雨上がり 空にかかった 虹の橋

川内小4年 伊藤 葉菜

あいつは 人の目を見て するものだ

川内小3年 越智 美空

本川は 山の緑が 美しい

長沢5年 山中 千聡

※「こども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。次回提出締め切りは9月20日(火)です。たくさんの皆さんの応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします) ※選評は、川柳連会の皆さんにお願ひしています。